

あかおろし

第65号

令和7年3月31日
青少年育成市民会議
蒲生支部発行
編集：家庭部会

子どもの居場所づくり

支部長 築田 利雄

平素は、青少年育成市民会議の活動に格別のご理解とご協力を賜り、書面からではございますが、厚く御礼申し上げます。

昨年の夏休み、地域学校協力活動推進委員さん

指導による「蒲生地区の小中学生あつまれ」夏休み勉強会が、蒲生コミュニティセンター、長峰コミュニティセンターで、各会場五日間開催されました。

時間は、十時から十二時までの二時間で、最初の一時間は勉強（宿題）をして、後の一時間は、自由時間としてランプ、オセロ、ぬり絵、的当て等いろいろなことをして楽しく過ごしました。

見守りスタッフは、元教職員・大学生・高校生・地域の有志の方々が、学

習支援・遊び相手・話し相手となりました。

参加者数は、長峰会場で、平均子ども四十五人、大人七人。蒲生会場は、子ども二十人、大人六人でした。

もう一つ、中学生の放課後の居場所として、新年度から、蒲生コミュニティセンターと蒲生体育館の一室が開放されようとしています。

最後に皆様にお願ひがあります。下校時の子どもたちの集団が年々小さくなり、一人で帰る子どもが多くなりますので、散歩・畑仕事をしながら子ども達を見守っていただけると幸いです。

蒲生の子は蒲生で見守り育てましょう。

駅舎清掃

毎年、朝桜中学校の生徒さんと地域の方が一緒に行う恒例の駅舎清掃です。今年は六月は雨で中止となり、十一月十日の一回の実施となりました。

地域の人と共に

大人参加者 S.T

地域のボランティア活動に参加し、駅舎清掃を行いました。この活動を通じて、地域の大人と子どもが繋がることができました。この活動に参加した人同士が年齢関係なく楽しく話していて嬉しかったです。清掃活動を通じ、参加者が「楽しかった」などといった気持ちで共有できたことが大きな成果だと感じています。地域の皆さんに、このような活動を知っていただきもっと多くの人が参加するきっかけになればと思っています。



駅舎清掃に参加して

朝桜中学校 生徒

私は、駅舎清掃を終えて地域を守る大切さを知りました。

たばこや空き缶などがあることで、気持ち良く駅を利用できない人が多いのかなと感じました。また、私は部活などで駅を利用することがありますが、この駅舎清掃活動に参加したことにより、前よりも落ちていたゴミなどを気にするようになりました。

これからも、地域の歴史を守っていきます。



駅舎清掃を振り返って

朝桜中学校 生徒

私は、駅舎清掃に参加してたくさんごみがあり驚きました。私は近江鉄道を利用する機会が時々あります。ですが大きなごみは目に入るもののそのままにすることが多くあります。この行動を減らすために駅に一つゴミ箱を設置すると、みんながごみに気付いたときに捨ててくれると思いました。これからも地域のボランティア活動に積極的に参加し、蒲生を守っていったらいいなと思いました。





意見発表者の皆さん

輝かしい 未来への架け橋 青少年育成大会

令和6年10月12日

十月十二日(土)にあかね文化ホールにおいて「蒲生地区青少年育成大会」を開催しました。蒲生地区の小学生・中学生六名が家族への感謝の気持ち日頃の思いや考えなどを堂々と自分自身の言葉で発表しました。ステージ発表では、蒲生野太鼓わらべ組や、朝桜中学生有志三チーム、蒲生ケイキフラ教室ピカケのみなさんが、元氣溢れる姿をアピールし、会場は大いに盛り上がりました。

意見発表者と受賞者の皆さん

蒲生西小学校 6年 村井 姫菜さん
「私を支えてくれている家族」

蒲生北小学校 6年 富田 愛莉さん
「自信をつける」

蒲生東小学校 6年 福岡 京さん
「感謝の言葉」

朝桜中学校 1年 前田 亜実瑠さん
「自分で選べるということ」

朝桜中学校 2年 山田 彩乃さん
「無意識の偏見」

朝桜中学校 3年 椿 煌太さん
「見えない世界で見た世界」

地域実践活動賞

★ 松村 喜太郎さん

長年にわたり、下麻生公園前で岡本、上麻生、下麻生の小学生の登校時に朝のあいさつや声掛けをしていただき、国道 477 号線を横断する子どもたちの安全を確保していただいています。

子どもたちも大きな声であいさつをし、止まってくれた車には帽子を取ってしっかりとお礼をしています。



青少年育成大会で学んだこと
中学生実行委員 代表
私は、先月行われた青少年育成大会で「普通に暮らせることのありがたさ」について改めて学びました。一人で食えることができる、やりたいことを自由にできる。普段当たり前にしている、考えることのなかったことを考える良い機会になりました。今後、この大会がもっと盛り上がり、多くの人が普段の生活や人権問題など色々なことについて考える機会になるとよいと思いました。



中学生実行委員の皆さん

◆ アンケート結果より

《小・中学生の意見発表を聞いて》

- 自分より年下の子たちが広い視野で物事をとらえているのを見て聞いて、自分ももっと広く物事を見ないといけないと考えさせられました。
- 素直な気持ちが発表していて、自分の経験から様々な問題に目を向けられており、考えたことなどを今後の人生に活かしてください。
- 発表された子たちの考えたことや、思ったことを堂々とされていて、大人として子どもに背中を見せられるよう日々がんばりたいと思った。
- 普段あまり知る事のない小・中学生が、感じていること考えていることに触れることができ良かったです。
- こんな大きなステージで堂々と発表され、皆さん素晴らしい!!

《ステージ発表を見て》

- 小規模なステージかもしれないけど、大きな輝きを感じて元氣をもらった。
- 一つの事に集中してステージで発表する。学校とは違う学びを見せてもらい感動しました。
- 日頃たくさん練習しておられることがうかがえるステージでした。発表の場の一つとして、こういう機会があることはいいことだと思います。



蒲生野太鼓わらべ組の皆さん



ステージ発表 朝桜中学生有志 3チーム
ついで★さん SIAGIRLSさん Little girlsさん



蒲生ケイキフラ教室ピカケの皆さん

青少年健全育成標語 【優秀賞】

『友達の 笑顔が僕の 充電器』

蒲生東小学校 5年 岡 大治朗さん

『友情は 一人一人を つなぐ糸』

蒲生西小学校 5年 坂井 瑠莉さん

『「ごめんなさい」言えたらきっと 心の友達』

蒲生北小学校 5年 澤 真寿さん

『肩に置く その手にいつも はげまされ』

朝桜中学校 2年 奥田 陽翔さん

「友情」をテーマに標語を募集!

友だちとの関わり方や、仲間の大切さをみんなで考えてもらおうと、「友情」をテーマに小・中学生に標語を募集しました。優秀作を表彰するとともに、それぞれの小・中学校に入賞作品を掲示しました。



子育て四訓

1. 乳児の時は、肌身離さず
2. 幼児の時は、肌を離して手を離さず
3. 少年の時は、手を離して目を離さず
4. 青年の時は、目を離して心を離さず

マックスクラブ発表会& あかねっ子フェスタ

令和7年3月2日

私は、今日出来たてのお餅を販売してたくさん買っている人がいて販売をしている側からしたらとても嬉しくて、周りで食べている人を見て笑顔になっている人が多かったです。出来たてっていうこともあって温かいうちにたくさんの人に提供できてよかったと思います。餅つきをしている子どもたちが一生懸命で、楽しそうにやっていたので良いと思いました。

高校生ボランティア



今日は、昨年に引き続きお餅の販売を手伝いました。
今回は昨年より天気が悪くて人が少なかったです。昨年は売るのを手伝いましたが今年は作るのを手伝いました。昨年とは違う楽しさがあり、良かったです。

これからもボランティアできる機会があればしたいなと思いました。

高校生ボランティア

みんな笑顔 あいさつ運動



蒲生支部では六月と十一月に、朝の登園・登校時にあいさつ運動を実施しました。「おはようございます」「おはよう」と元気いっぱいの子どもの声に大人も自然と笑顔になりました。



あかね運動の推進

あ いさつ (あいさつのとびかうまち)

か んしゃ (感謝の気持ちがあふれるまち)

ね ばり強く (ねばり強くやりとげるまち)